

モニタリングシート（院・英文学専攻）

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	次へのアクション
1	前年度の向上・改善施策の実施状況（成果・課題・継続事項）はどのような状況であるか。	点検・評価課題に対する向上・改善施策	学部での新体制・新カリキュラムに対応して改善・変更を行う計画。	学生の確保。	学生のニーズの把握と、専攻のアピールを行うFDの実施。
2	定員充足の状況はどのような状況か。	定員充足率データ	学生を確保するために、学生のニーズを把握し、改善を行い、その結果を公表（アピール）することが求められている。学部の改革体制を構築した後に、連動する改善を行っていく。	全国的に関連分野の大学院学生が著しく減少している中、他との差別化を図り、学生を集める方法に見当が付かない。	学生のニーズの把握と、専攻のアピールを行うFDの実施。
3	DP・CPと連関したカリキュラムが適切に設計されているか。	履修要項等の各種データ	現行制度では問題なし。	特になし。	学生の確保。
4	DPに沿って設定された各学位プログラムレベルにおけるカリキュラムについて、適切に実施されているか。	・履修状況等の各種データ ・大学院アンケート結果	現行制度では問題なし。	特になし。	学生の確保。
5	学修成果の到達度の把握はどのようなおこなっているか。	学修成果の把握の取り組み等 大学院アンケート結果	学生不在のため、モニタリング不可能。	特になし。	学生の確保。
6	各科目の成績および論文・研究が適切に評価されているか。	・成績評価に関する取り組み等 ・大学院アンケート結果	学生不在のため、モニタリング不可能。	特になし。	学生の確保。
7	職位構成・年齢構成のバランス、非常勤比率に留意し、かつカリキュラムに基づく教員組織となっているか。	・所属教員の状況 ・科目群別非常勤比率	引き続きバランスに留意する。	男女比と年齢構成の将来的なバランス維持。	次に予定される採用人事において、女性の講師職の採用を予定している。
8	課題認識および外部環境を踏まえた独自のFD活動を実施できているか。	・FDの取り組み状況 ・前年度点検シート ・点検・評価課題に対する向上・改善施策	学生に対して、大学院および専攻分野のアピールを引き続き行う。	関連分野の学問的重要性および学修の意義を如何に伝えるか。	学生のニーズの把握と、専攻のアピールを行うFDの実施。

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	次へのアクション
9	上記以外で「継続すること」「課題」「次へのアクション」「全学レベルで検討すべき事項（提案）」があれば入力。	・各種データ	特になし。	特になし。	特になし。